

個人投資家向け説明会

2022 年 11 月

日産車体株式会社

会社紹介

日産車体は、ここ神奈川県平塚市に本社、
湘南工場、テクノセンターがあり秦野市には秦野事業所、
そして福岡県には日産車体九州があります。
それでは、この4つの拠点の特徴をご紹介します。

本社、湘南工場ではNV200バネット、
小型トラックのピックアップなどを生産。

テクノセンターでは新型車の開発や試作モデルの制作。
秦野事業所にはボディパーツを作るプレス工場と、
テストコースをはじめとする実験設備。

そして、日産車体九州では、
ミニバン エルグランドや輸出用のパトロールなどを生産。

日産車体で生産されたクルマは、
日本国内はもちろん、海外でも高い評価をいただいています。

日産車体で生産されたクルマは、国内に出荷されるだけでなく、
世界各国へも輸出されています。
高品質なクルマを、世界中のお客様へ。

2022 年度第 2 四半期の内容

皆さま、こんにちは。

日産車体株式会社、代表取締役社長の吉村東彦です。

ただいまより、2023 年 3 月期 第 2 四半期決算について説明致します。

2022 年度、第2四半期の売上台数は、大きく落ち込んだ 20 年度からは増加しているものの、21 年度からほとんど変わらず、6 万台となりました。

車種別の売上台数を見ると、ご覧のようになります。

キャラバンと、NS-K のフレーム車は、4、5 月に起こった上海ロックダウンの影響を受けましたが、半導体影響を大きく受けた前年度に対しては増加となりました。また、湘南工場は今年度の半導体供給不足が NV200 バネットと AD を直撃し、大幅に減少しました。

次に、売上高についてです。2022 年度第 2 四半期の売上高は、前年同期の 1,151 億円に対し、1,309 億円となりました。

損益面では、営業損益が前年同期のマイナス 5 億円に対してマイナス 10 億円、当期純損益は前年同期のマイナス 2 億円に対してマイナス 5 億円と、材料市況悪化の影響により前年度に対し減少し、厳しい状況となりました。

以上が、第 2 四半期の実績です。

今回の決算も営業損益が残念ながらマイナスとなりました。

しかしながら、第 3 四半期以降は、営業損益も挽回していく見込みで、通期の収益見通しは当初計画に対して変更していません。

以上が 2023 年 3 月期 第 2 四半期決算についての説明になります。

お忙しい中、ご視聴いただき、誠にありがとうございました。